

令和3年度第3回 府中市地域公共交通協議会 会議録（要旨）

開催日時 令和4年3月25日（金） 午後2時から午後2時50分まで

開催場所 府中駅北第2庁舎3階会議室

出席委員等 15名（名簿順）

森本章倫委員、岡村敏之委員、榎本聡委員、谷口信夫委員（代理：中川拳太氏）、
早田俊介委員、小泉裕樹委員、小宅肇委員、平野景一委員、小泉伸介委員、飯箸俊一
委員、小町篠委員、野田和彦委員、清水直樹委員、北村のぞみ委員、松村秀行委員

欠席委員 5名（名簿順）

篠田貴宏委員、齊原潤委員、堀木智浩委員、河井文委員、林田あゆみ委員

事務局

高橋都市整備部次長兼計画課長、松本計画課交通企画担当主幹、國分計画課長補佐、
浅見計画課交通企画担当主査、荒井計画課事務職員

傍聴者 0名

議事次第

1 開会

2 議題

(1) 協議事項

ア 公共交通の課題抽出について

イ 地域公共交通計画の基本的な方針（案）等について

3 その他

4 閉会

会議概要

事務局

ただいまから、府中市地域公共交通協議会を開会していただきたく存じます。開会に先立ちまして、都市整備部次長の高橋よりご挨拶申し上げます。

○都市整備部次長

委員の皆様、こんにちは。都市整備部次長の高橋でございます。本日は年度末のお忙しい中、お集まり頂きまして誠にありがとうございます。

地域公共交通計画の策定に向けて、委員の皆さまより貴重なご意見を頂ければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

事務局

以降の議事進行につきましては、会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

会長

年度末のお忙しい中、お集まり頂きましてありがとうございます。ただいまから令和3年度第3回府中市地域公共交通協議会を開催します。本日の委員の出席状況について事務局から報告をお願いします。

事務局

(篠田委員、齊原委員、堀木委員、河井委員、林田委員の欠席、谷口委員の代理として国土交通省関東運輸局東京運輸支局運輸企画専門官の中川氏が出席する旨報告)

会長

続いて、傍聴者についてご報告をよろしくお願いいたします。

事務局

(傍聴者希望者がいないことを報告)

会長

傍聴者がいないということですので、そのまま議事を進めたいと思います。協議事項「ア 公共交通の課題抽出」について説明をお願いします。

事務局

(資料1に基づき、説明)

会長

ありがとうございました。委員の皆さまから、ご質問やご意見をお受けしたいと思っております。

資料1は、文章形式で読みやすくまとめて頂いているのですが、最終的にはどこかに公開する予定なのでしょうか。

事務局

今後、施策の検討等を進めた後に、計画案、計画書を作成していくこととなります。このままではないと思いますが、計画書に組み込むことを想定しています。

会長

その際には、S W O T分析の前に資料を入れるなど工夫をして頂ければと思います。

ほかになれば、協議事項「公共交通の課題抽出」については了承としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

会長

ありがとうございます。続いて、協議事項「地域公共交通計画の基本的な方針(案)等」について説明をお願いします。

事務局

(資料2に基づき、説明)

会長

ありがとうございました。皆さまからご質問やご意見をお受けしたいと思えます。

委員代理

今回は基本的な方針ということで、まだ気が早い話なのかもしれないのですが、計画の中で目標設定が必要となり、目標設定で重要となってくるのが、クロスセクター効果という点です。交通以外の分野への波及効果も示して頂ければ、より良いものになると思います。今回の方針の中でも、福祉や観光等、他分野の連携については入れて頂いていますが、この計画で公共交通網をより充実させた際に、他分野にどのような好影響があるということをより詳しく示していただくと、より良いものができるのではないかと思います。

また、地域公共交通計画は、地域公共交通活性化再生法が根拠になっており、令和2年度の改正で組み込まれた、地域の輸送資源の総動員という話があります。スクールバスや福祉輸送、病院や商業施設の送迎サービス等の、公共交通以外の輸送資源をどのように活用していくかということが、新たに組み込まれた点ですので、公共交通計画の中で触れていただきながら既存の公共交通と連携ができればよいと思います。

事務局

ご意見ありがとうございました。頂いたご意見も踏まえ、引き続き部会及び当協議会において検討して頂けるように進めていきたいと考えています。

会長

参考資料の「今後の進め方について」見て頂くと、今回は計画の方向性の整理を議論して、委員代理からご指摘のあったクロスセクター効果等は、施策事業・

指標等の検討でさらに掘り下げていき、このような公共交通ネットワークをつくることにより、街にとってどのような良いこと、波及効果があるのかを、今後PDC Aを回しながらチェックしていくことになると思います。

輸送資源の総動員については、どのようなものが実際に活用できる可能性があるかを、事務局で調べて頂ければと思います。

会長

4ページに「基幹交通軸」というキーワードがあり、5ページの施策の方向性には検討中と記載がありますが、これから絞り込んでいくという認識でよろしいでしょうか。基幹交通軸の理解としては、広域交通と地区間交通のうち、重要性の高いものあるいはアクセス性の高い区間の抽出をするというように読み取れるのですが、そのような理解でよろしいでしょうか。

事務局

3ページ中段に「市内公共交通の階層の考え方」で基幹交通軸という形で記載をさせて頂いています。特に市中心部へのアクセス性が高い区間は、基幹的な交通軸になると捉えています。具体的に指定をしていくかどうかまでは整理ができていません。市中心部へのアクセスは今後も維持をしていく必要があると考えており、なにかしらの施策を展開していくべきではないかと考えています。

会長

3ページの表にある「該当する公共交通」の「基幹交通軸」が空白になっていますが、どのようなものが該当するかを含めて、今後検討をしたいということでしょうか。

事務局

その通りです。

会長

他にいかがでしょうか。本日の協議会を経て、オープンハウスという形で市民に見て頂くこととなります。疑問点やご不明点等ございましたら、この場でご指摘を頂ければと思います。

副会長

市民へ説明をする際に、市が地域公共交通の計画を行う意味を理解してもらうのは案外難しいことで、学校や公民館など施設の整備をするようなイメージで考えられてしまうと、出発点が異なってしまいます。

公共交通の対象はどのようなもので、ほかに関連するものとしてどのようなものがあるのか、例えば、移動手段や交通環境というと道路環境や自転車のことなども含まれてきますが、そこまで計画に含まないにしても、そこも考えながら公共交通の計画を策定するという話になります。

行政が公共交通の計画をする意味を正確に説明することは難しいですが、市民から声を頂ける範囲で、意義や中身の説明をして頂くことは大事だと思います。具体的なことがない絵に描いた餅だと言われてしまうかもしれませんが、そうではないことの分かりやすい説明を考えなければならないと思います。

事務局

参考資料「今後の進め方（スケジュール）について」にあるように、本日の協議会でのご意見等を踏まえながら、来年度にオープンハウスでパネル展示等を行いながら、市民の皆様にご意見を伺う場を設け、ご意見を反映しながら施策事業・指標等の検討を進めたいと考えています。

今回の資料をそのまま提示してもご理解を頂きにくいかと思いますので、地域公共交通計画の意義について、分かりやすくお伝え出来るよう、オープンハウスで提示する資料については注意したいと考えています。

会長

ほかにいかがでしょうか。特になければ、協議事項「イ 地域公共交通計画の基本的な方針（案）等」について了承ということによろしいでしょうか。

（異議なし）

会長

続いて「その他」について説明をお願いします。

事務局

本日の協議会を持ちまして、今年度の会議は終了となります。

今後については、オープンハウスを5月中旬に予定しており、その後、施策事業・指標等の検討を行い、計画素案を作成し、令和5年の夏ごろに計画策定を予定しています。会議の開催時期については、部会は6月中旬頃、協議会は9月上旬頃の開催を予定しています。

会長

全体を通して、ご意見やご質問等はありませんでしょうか。

委員

東京都としても、地域公共交通の在り方検討会を行っており、3月末に基本方針をまとめたいと考えています。地域公共交通の充実・強化に取り組む区市町村への支援策を考えることをテーマとして掲げており、次年度の予算要求と連動しながら検討をしています。府中市と東京都で歩調を合わせながら、進めていきたいと思っておりますので、引き続きよろしく申し上げます。

会長

オープンハウスで市民に周知するにあたって、計画の意義をはじめ、府中市と東京都の考え方や立ち位置を含めて、皆さまにご理解頂ければと思います。また、具体的な施策がないと絵に描いた餅になってしまうので、どのような支援策があるのかも併せて、次段階へ進む仕組みがあれば良いのではないかと思います。

他になければ、以上をもって本日の地域公共交通協議会を閉会させて頂きます。ありがとうございました。

以上